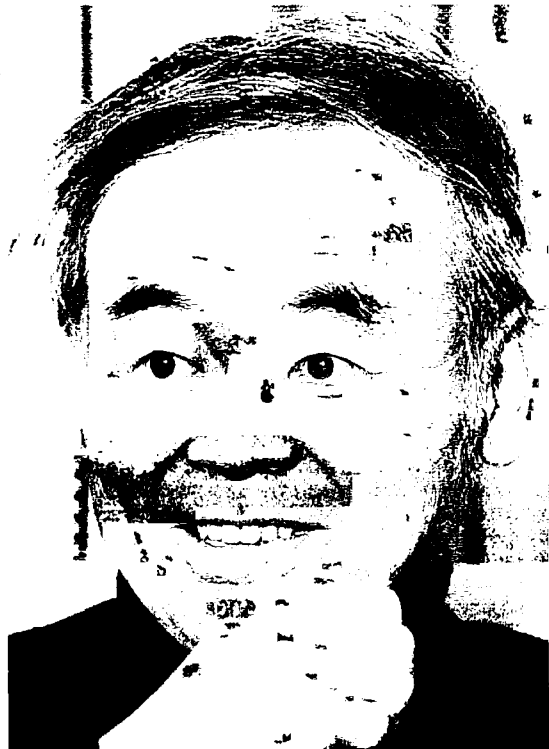


日本の国柄の復興 藤原 正彦さんに聞く

日本中が惘然の情で満たされた



若き次男。藤原正彦さん(右)は、数学者のアメリカ(日本エッセイスト・クラブ賞受賞)「遥かなるケンブリッジ」「国家の品格」「日本人の誇り」など著書多数。お茶の壺、新田次郎、藤原正彦さん(右)は、数学者のアメリカ(日本エッセイスト・クラブ賞受賞)「遥かなるケンブリッジ」「国家の品格」「日本人の誇り」など著書多数。

国語磨き価値を自覚

規制をなくして自由競争を追求することは一見、論理的で美しいが、強者と弱者の格差を広げ、世界を色にする。地球は色々な民族、言語、衣装、ダンス、歌など多様性が...

「最近、講演に行くと、『これまで日本は恥ずかしい国と...』という感想をよ...

経済偏重脱し真の教養を

日本中が喪に服したことに感銘を受けました。ただ、桜の季節になっても花見客が少な...

成にできる。ところが政権に国策も都市計画もないから復...

く育てられた。弱者がいじめられていたら助けよ、と。そ...

「日本は80年代に『一億総中流社会』という世界の夢を...

けで世界経済が沈没し始める。タンカーは1カ所の破綻が全体に及ぼ...

穴が開いた金持ちの商人が尊敬する。それが現実には驚いてしまった。

(編集委員 嶋沢裕志)

東京の消防隊員に「日本の救世主になって」と送り出す武士の妻がいま

く東京都の消防隊員に「日本の救世主になって」と送り出す武士の妻がいま

大震災からの復興は変革の大きな契機になるという。

「20年ぐらいは新自由主義が跋扈し、生け馬の目を...

「20年ぐらいは新自由主義が跋扈し、生け馬の目を...

「20年ぐらいは新自由主義が跋扈し、生け馬の目を...

「20年ぐらいは新自由主義が跋扈し、生け馬の目を...

「20年ぐらいは新自由主義が跋扈し、生け馬の目を...

「20年ぐらいは新自由主義が跋扈し、生け馬の目を...

夫 (64)

ハナの生還

震災からちょうど1カ月たつたころだった。海沿いの道す1匹と、家の近くに居つてもみるみる生氣を取り戻す。

裏で共同生活を営む両層集落の人たちのマスケットのよう...

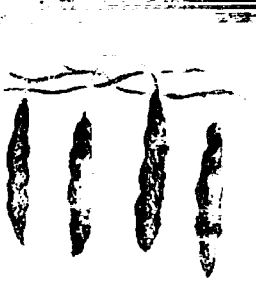
やせた雌の野良猫が正徳寺の境内に姿を現した。近所では...

ピアノの先生宅や檀家、横浜の知人宅にも連れて行っ...

「今年とはどんな1年でしただか」と改めて尋ねられ...

イラスト:平野 恵理子

ページ 編集室、電子メール kokoro@nex.nikkei.co.jp



うたた寝

フジ(藤) マメ科のつる性落葉木本。山野に自生し、春に紫色や白色の花を房状に垂れ下げて咲かせる。

知られず燃えてなくなり、感謝カードは法要後の交流会で掲示板に張られる。1年を振り返り、心を整理する儀式ともいえる。